

全米・カナダ邦人安否確認システム
(Emergency Information Service System : EISS)

2006年9月8日、外務省は、全米（ハワイ、グアム、サイパン、プエルトリコ、米領バージン諸島を含む。）及びカナダを対象に、緊急事態発生時における「全米・カナダ邦人安否確認システム」の運用を開始しました。

1. 「全米・カナダ邦人安否確認システム」とは

このシステムは、全米・カナダにおいて大規模な事件・事故や自然災害などの緊急事態が発生したときに利用できます。（平常時には利用できません。）

このシステムを利用し、被災者等はメッセージを残し、家族や知人はそのメッセージを聴くことによって、被災者等の安否や所在を確認することができます。

2. システムの利用方法

本システム御利用の際には、次の番号に電話をおかけください。

1-866-903-2674	全米・カナダからは通話料無
1-866-904-2674	料。その他の地域からは米国
1-866-905-2674	までの通話料有料。
1-718-313-9150	通話料有料。

(1) 被災者等がメッセージを録音する方法（全米・カナダからのみ）

上記番号に電話し、音声案内に従い、パスワードとして、あなたの電話番号（海外又は日本の自宅の電話番号）及びあなたの生年月日をプッシュボタンで入力し、あなたのお名前と安否・所在に関するメッセージ（30秒以内）を音声で録音します。

(2) 録音されたメッセージを再生する方法（日本、全米・カナダ、諸外国どこからでも可能）

上記番号に電話し、音声案内に従い、パスワードとして、被災者等の電話番号（海外又は日本の自宅の電話番号）及び被災者等の生年月日をプッシュボタンで入力すれば、被災者等によって録音されたメッセージを再生することができます。

(3) 大使館・総領事館からのお知らせを再生する方法（日本、全米・カナダ、諸外国どこからでも可能）

上記番号に電話し、音声案内に従い、大使館・総領事館からの渡航情報や危険情報

等に関するお知らせを聞くことができます。

※注 全米・カナダ以外から御利用の場合、国際通話になりますので、国際電話サービス会社指定の番号をダイヤルした後、上記番号をダイヤルしてください。

(例) 指定番号 + 国番号 + 上記番号

001など + 1 + 866-903-2674

Q & A

Q 1 システムはいつでも利用できるのですか。

このシステムは、全米及びカナダにおいて大規模な事件・事故や災害といった緊急事態が発生した場合にのみ稼働するシステムです。平常時は利用できません。

Q 2 災害時なのにシステムに電話はつながるのですか。

通常の電話回線では、加入している電話会社1社の回線を使用することになるため、回線自体が混雑したり、加入している電話会社がサービスを停止したりすることがあり、通話ができなくなる可能性があります。

このシステムでは、複数の電話会社のネットワークを使用するため、通常の電話回線よりもつながりやすくなっています。ただし、被災地の電話網そのものがダメージを受けた場合は、復旧するまでの間、利用できないことがありますので、他の地域に移動してかけ直すことをお勧めします。

Q 3 だれでも利用できるのですか。

だれでも利用できます。

Q 4 携帯電話や公衆電話からもかけられるのですか。

固定電話、携帯電話及び公衆電話からの通話が可能です。

Q 5 日本やアメリカ・カナダ以外からも使えるのですか。

どこからでも利用できます。

Q 6 利用料金は必要ですか。

全米及びカナダ国内からフリーダイヤル番号に電話をかける場合は、通話料無料で

利用できます。それ以外の地域からフリーダイヤル番号にかける場合は、米国までの通話料金が利用者負担となります。有料通話番号利用の場合は、通話状況に応じた金額が必要になります。

Q 7 対応している言語は何ですか。

日本語と英語に対応しています。

Q 8 使い方が分からない場合はどうすればよいのですか。

すべての操作には音声で案内が流れる仕組みになっているほか、システム全般のガイドを再生することもできます。

Q 9 事前にパスワードを日本の家族等に知らせる必要はあるのですか。

海外又は日本の自宅の電話番号と生年月日をパスワードとして利用しますので、これらをご存じであれば、事前に知らせる必要はありません。

Q 10 録音できるメッセージはひとつだけですか。

同じ人が何度でもメッセージを録音することができます。録音されたメッセージは、最新のメッセージから古いメッセージの順で再生されます。

Q 11 録音できるメッセージの長さはどのくらいですか。

1件当たり、30秒以内のメッセージを録音できます。

Q 12 メッセージは、どのくらいの期間、保存されるのですか。

録音されたメッセージは、緊急事態が落ち着くまでの一定期間（1か月程度）保存され、その保存期間が経過した時点で自動的に消去されます。

Q 13 システムのセキュリティ対策はどうなっていますか。

このシステムの置かれているデータセンターは高度なセキュリティシステムで守られていますが、システムの悪用防止のため、安否・所在以外の情報、特に、口座番号やクレジットカード番号等に関するメッセージの録音や、送金を目的としたシステムの利用は行わないでください。外務省は、登録された音声メッセージの内容に関する一切の責任を負いませんので御了承ください。

メッセージの録音・再生方法（使用例）

ここでは、ニューヨークでテロ事件に遭遇した山田太郎さんがこのシステムを利用してメッセージを録音し、日本に住んでいる母親の花子さんがそのメッセージを聴く、という想定に基づき、メッセージの録音・再生の方法についてイメージします。

1. メッセージの録音

● 山田太郎

1-866-903-2674に電話をする。

○ 音声案内

こちらは、外務省が運営する全米・カナダ邦人安否確認システムです。日本語を御希望の方は「1」を押してください。

You have reached Emergency Information Service System operated by the Ministry of Foreign Affairs of Japan. To continue in English, press “2”.

● 山田太郎

「1」を押す。

○ 音声案内

このシステムは、被災地におられる邦人の方が、音声メッセージを残し、日本の家族等がそれを聞くことによって、邦人の安否を確認することができる伝言システムです。音声の録音に当たっては、口座番号、クレジットカード番号は残さないようにしてください。

音声メッセージを登録したい方は「1」を、被災地にいる邦人の残した音声メッセージをお聞きになりたい方は「2」を、日本国大使館・総領事館からのお知らせをお聞きになりたい方は「3」を、このシステムに関するガイドをお聞きになりたい方は「4」を押してください。

● 山田太郎

「1」を押す。

○ 音声案内

音声メッセージの登録に当たっては、まず、あなたの電話番号を登録していただきます。これは、パスワードの役割を果たす重要な番号です。全米及びカナダ在住で電話番号をお持ちの方は自宅の電話番号を、旅行等で決まった海外の電話番号をお持ちでない方は日本の電話番号を、国番号は押さずに市外局番から続けて入力し、最後にシャープキーを押してください。

● 山田太郎

「2123718222#」を押す。

○ 音声案内

入力された電話番号は、「2123718222」です。正しければ「1」を、電

話番号を入力し直したい場合は、「2」を押してください。

● 山田太郎

「1」を押す。

○ 音声案内

あなたの生年月日を西暦で入力し、最後にシャープキーを押してください。この情報も、パスワードの役割を果たす大切な情報です。例えば、あなたの生年月日が1965年10月1日の場合には、19651001と入力してください。

● 山田太郎

「19540524#」を押す。

○ 音声案内

あなたが入力した生年月日は「19540524」です。正しければ「1」を、再入力したい場合は「2」を押してください。

● 山田太郎

「1」を押す。

○ 音声案内

発信音の後に、あなたの名前を音声で登録してください。録音時間は5秒間です。登録が終わりましたら、シャープキーを押してください。(ピーという発信音)

● 山田太郎

「やまだたろう」と声に出して録音した後、「#」を押す。

○ 音声案内

発信音の後に、音声メッセージを登録してください。録音時間は約30秒間です。登録が終わりましたら、シャープキーを押してください。(ピーという発信音)

● 山田太郎

「太郎です。ニューヨークで大規模なテロが発生し、マンハッタンから日本への電話がつながりにくい状況です。私と家族は、ウェストチェスターの友達の家へ避難しようとしており、現在移動中です。無事ですので安心してください。無事に避難が済んで、国際電話が通じるようになったら、また連絡します。」と声に出して録音した後、「#」を押す。

○ 音声案内

音声メッセージの登録を完了しました。更に本システムを利用したい方は「1」を、録音した音声メッセージを確認したい方は「2」を、音声メッセージを登録し直したい方は「3」を、終了したい方はシャープキーを押すか、そのまま電話をお切りください。

● 山田太郎

「#」を押して、受話器を置く。

2. 録音した音声メッセージの再生

● 山田花子

1-866-903-2674に電話をする。

○ 音声案内

こちらは、外務省が運営する全米・カナダ邦人安否確認システムです。日本語を御希望の方は「1」を押してください。

You have reached Emergency Information Service System operated by the Ministry of Foreign Affairs of Japan. To continue in English, press “2”.

● 山田花子

「1」を押す。

○ 音声案内

このシステムは、被災地におられる邦人の方が、音声メッセージを残し、日本の家族等がそれを聞くことによって、邦人の安否を確認することができる伝言システムです。音声の録音に当たっては、口座番号、クレジットカード番号は残さないようにしてください。

音声メッセージを登録したい方は「1」を、被災地にいる邦人の残した音声メッセージをお聞きになりたい方は「2」を、日本国大使館・総領事館からのお知らせをお聞きになりたい方は「3」を、このシステムに関するガイドをお聞きになりたい方は「4」を押してください。

● 山田花子

「2」を押す。

○ 音声案内

音声メッセージをお聞きになりたい方の電話番号を、国番号は押さずに市外局番から続けて入力し、最後にシャープキーを押してください。これはパスワードの役割を果たす重要な番号です。お探しの方が全米又はカナダに自宅の電話番号があればその番号を、旅行等で全米又はカナダの電話番号をお持ちでない方の場合には日本の電話番号を入力してください。

● 山田花子

「2123718222#」を押す。

○ 音声案内

入力された電話番号は、「2123718222」です。正しければ「1」を、再度電話番号を入力し直したい場合は「2」を押してください。

● 山田花子

「1」を押す。

○ 音声案内

音声メッセージをお聞きになりたい方の生年月日を西暦で入力し、最後にシャープキーを押してください。この情報も、パスワードの役割を果たす大切な情報です。例えば、生年月日が1965年10月1日の場合には、19651001と入力してください。

● 山田花子

「19540524#」を押す。

○ 音声案内

あなたが入力した生年月日は、「19540524」です。正しければ「1」を、再入力したい場合には「2」を押してください。

● 山田花子

「1」を押す。

○ 音声案内

メッセージを検索中です。しばらくお待ちください。

お探しの方のお名前は「やまだたろう」さんです。音声メッセージをお聞きになる方は「1」を、異なる電話番号・生年月日を指定して再検索したい方は「2」を、更に本システムを利用したい方は「9」を、終了したい方はシャープキーを押すか、電話をお切りください。

● 山田花子

「1」を押す。

○ 音声案内

1件の音声メッセージが見つかりました。この音声メッセージは、アメリカ東部標準時刻、2006年9月8日〇〇時△△分に録音されました。

(メッセージを再生)「太郎です。ニューヨークで……………」。

音声メッセージの再生が終了しました。もう一度メッセージをお聞きになりたい方は「1」を、次のメッセージをお聞きになりたい方は「2」を、更に本システムを利用したい方は「9」を、終了したい方は、シャープキーを押すか、そのまま電話をお切りください。

● 山田花子

「#」を押して、受話器を置く。

(以上)